

九州大学附属図書館付設教材開発センター 助教公募要領

九州大学附属図書館付設教材開発センターでは、助教を下記の要領で公募します。

- 1 公募人員 特定プロジェクト教員・助教 1 名
- 2 配置部署 九州大学附属図書館付設教材開発センター
- 3 業務内容 当センターは平成 30 年 4 月より次の 2 部門となる予定です。それぞれの活動内容は次の通りです。

① イノベティブ・オープン・エデュケーション部門

- ・講義・講演・講習会等の撮影・編集・公開
- ・SPOC(Small Private Online Course)、MOOC(Massive Open Online Course)制作
- ・多様なチャネル(OCW、YouTube、iTunes U、QIR等)による教材等コンテンツ発信
- ・電子教材開発における著作権処理支援や英語化支援
- ・インストラクショナルデザインに基づいたオープンコースの開発支援

② イノベティブ・コンテンツ・デザイン部門

- ・ICTを活用した電子教材等コンテンツの作成技法や作成ツールの開発
- ・双方向型 3 次元マルチメディアやゲーム性を活用した電子教材の開発と開発支援
- ・携帯端末やVR/AR/MR等の新技術に対応する電子教材の開発と開発支援
- ・コンテンツの再利用性を高め再編集を可能とする基盤技術の開発
- ・インストラクショナルデザインに基づいた教材、教育方法の開発支援

今回の募集では、①イノベティブ・オープン・エデュケーション部門の助教として、次に示す教材開発や教育技術に関する研究・開発を行い、広い教育的配慮のもとにセンター業務を遂行してもらいます。

- ・基幹教育院、共創学部等で実施する授業で使用する電子教材の開発
- ・学内のスタジオ機材を利用した MOOC 制作と字幕作成
- ・インストラクショナルデザインに基づいたオープンコース開発

また、教育改革推進本部(平成 29 年 11 月 1 日設置)の「教育方法・教材開発部門」を兼務し、業務を遂行してもらいます。

教材開発センターについては、<http://www.icer.kyushu-u.ac.jp> を参照して下さい。

- 4 応募資格 (1) 博士の学位を有する者または同等の研究能力を有すると判断される者
(2) 教育に深い関心を抱き、関連する分野で業績があること
(3) 英語の電子教材を作成し、英語で授業をできること
- 5 着任時期 平成 30 年 4 月降のできるだけ早い時期
(任期) (平成 33 年度末まで)

6 応募締切 平成29年12月27日(水) 必着

7 提出書類

- (1) 履歴書(写真貼付のこと。)
- (2) 業績リスト
 - (a) 主要著書、(b) 原著論文、(c) 総説・論評・解説・書評等、(d) 学会発表等、(e) その他(特許、外部資金獲得実績など)に分類し、年代順に並べて下さい。なお、原著論文や学会発表等では査読の有無を明記してください。
- (3) 主要原著論文3編程度の論文別刷
- (4) これまでの研究概要、今後の研究計画、教育についての抱負(それぞれA4数ページ)
- (5) 照会可能な2名の方の名前、所属、連絡先等

8 提出先 〒819-0395 福岡市西区元岡744
九州大学附属図書館新中央図書館3階
附属図書館付設教材開発センター長 宛
※郵送の場合は簡易書留とし、封筒に「教材開発センター助教応募書類
在中」
と朱書きすること。
※提出された書類は原則として返却しない。

9 問合せ先 附属図書館付設教材開発センター 古賀、西
E-mail: tokyozai@jimu.kyushu-u.ac.jp
TEL(092)802-6106

10 面接等 選考に際して、面接を実施することがあります。
そのための旅費等は自己負担となります。

11 その他

九州大学は、男女共同参画社会基本法(昭和45年法律第84号)の精神に則り選考を行います。男女共同参画推進室のURL <http://danjyo.kyushu-u.ac.jp/active/index.php> をご参照ください。

九州大学は、「障害者基本法(昭和45年法律第84号)」、「障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和35年法律第123号)」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号)」の趣旨に則り選考を行います。本学の障害者支援については、URL <https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/publication/handicapped-support> をご参照ください。